

元んしんぽんり



目次	エキノコッカス 1	ひろば 4
	検査情報 2	おしらせ 4
	検査 Q & A 3	声 (会員の先生方から) 4
	センターご紹介 3	編集後記 4

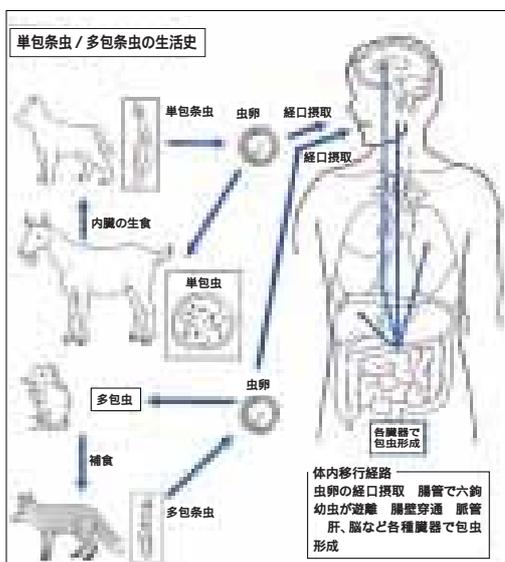
エキノコッカス *Echinococcus*

本種には単包条虫 (*Echinococcus granulosus*) と多包条虫 (*Echinococcus multilocularis*) が



エキノコッカス(人体寄生虫図鑑から引用)

あり、本来キツネやイヌなどの腸管に寄生する小条虫です。人は本虫の中間宿主になり、時にその幼虫である包虫が肝臓や肺などに寄生して包虫症の原因となります。単包条虫は暖かい地方で牧羊、牧牛の盛んな地域に多く、多包条虫は主に北海道にみられます。虫卵を人が飲み込むと主として肝臓に包虫ができます。単包条虫の包虫は発育が緩慢で、結合組織性の被膜で包まれており、周囲への浸潤が少ないことから手術による除去が可能な場合が多く、多包条虫の包虫は前種に較べ速やかに発育し、周囲に浸潤傾向が強く、他の部へ転移して多発することがあり、前種よりはるかに悪性です。診断としては胸部、腹部のX線単純撮影、肝およびその付近のCTスキャンや血管造影、超音波検査法などが有効です。寄生部位・発育形態から便中での虫卵検出はあまり有効ではありません。



人体寄生虫図鑑から引用

予防として飼いイヌは駆虫を行い、食物や飲料水の取り扱いに注意する。

北海道に旅行した場合は野生果物 (野イチゴなど) の生食に注意する必要があります。

検査情報

こんな時には再測定を実施します。



免疫血清検査では、次のような場合に再測定を実施しています。

区分	検査項目	内容
感染症	HBs抗原 / 抗体定性 HCV抗体(CLEIA) 梅毒検査 HIV抗体(CLEIA)	陽性結果時は必ず再測定を実施します。 なおHIV抗体につきましては、CLEIA法陽性の場合はPA法でも再確認します。
血漿蛋白	IgA、IgG、IgM、 総IgE(CLEIA) 特異IgE(CLEIA)	異常高値 / 低値について再測定します。 なお、関連性のある項目との相互関係(特異IgEについては関連アレルゲン)も確認します。
その他	マイコプラズマ抗体	1280倍以上
	トキソテスト	256倍以上
	甲状腺自己抗体 (サイロイド、マイクロゾーム)	640倍以上
	ASK	2560倍以上

この他にも

前回値との比較を実施しております。前回値から大きく変動する場合は、今回値が正常値範囲でも再測定を実施します。

上記の前回値比較は、感染症検査でも実施します。陽転化はもちろん陰性化した場合も再測定を実施します。

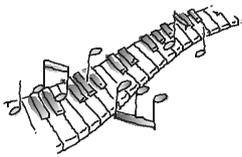
免疫反応上の異常反応が認められた場合は、随時再測定または精査を実施します。

検査Q & A

Q：尿スピッツで放置していたら生じる乳赤色（ピンク色）の沈殿物が残りました
これは血尿が疑われますか？

A：無晶性尿酸塩という酸性尿で析出する塩類と思われます。尿が冷やされることで析出することがあり、淡いピンクの無晶性顆粒として沈殿します。この結晶は加温やアルカリ性にするにより容易に消失します。健常人でもみられ、特別な病的意義はありません。血尿の程度によっても同様の所見を呈することがありますので、念のため沈渣でご確認されることをお勧めします。

血液・一般検査 技師 出口 稔



センターご紹介

生化学自動分析装置

前機種7450形の後継機種として一段の処理能力アップ、更に試薬の微量化を目的として開発された7600形を導入し、平成14年2月より稼動しました生化学自動分析装置を紹介します。化学自動検査では、自動分析装置7600-310形2機と7600-010形1機を駆使して一日あたり2500~3000名の患者さんの検体を測定しています。検査項目は先生方に最も馴染み深いと思われるAST、ALT、血糖など生化学項目約40項目の検査を行っております。7600形の特徴は多項目処理用構成単位(Pモジュール)と多検体処理用構成単位(Dモジュール)を組み合わせることにより分析装置の能力を最大限に発揮させ効率よく運用できることです。当センターでは、350検体/時間の処理能力とラック搬送ラインとは別に引き込み専用ラインを設置し、ラックの追い越しを可能とすることで分析時の後続ラックの待ち時間を短縮できております。これにより結果報告の時間短縮ができ、より早く正確な報告が可能となりました。



H7600-310形 自動分析装置



H7600-010形 自動分析装置

ひろば

韓国語 Part 3

- * 今までどんなご病気をされたことがありますか？ (지금까지 어떤 병을 앓은 적이 있으십니까?)
- *これから検査をします。(지금부터 검사를 하겠습니다.)
- *私は担当看護師の_____です。(저는 담당 간호원 _____입니다.)
- *体温と血圧と脈拍をはかります。(체온과 혈압과 맥박을 재겠습니다.)
- *薬に対してアレルギーがありますか？ (약에 대한 알레르기가 있으십니까?)
- ある [薬の名前: _____] (있다 [약의 이름: _____]) □ない (없다)
- *薬の飲み方/使い方(약의 복용법/사용법)
- 一回に__錠(カプセル) (1회에 __정/캡셀)
 - 食後 (30分以内) (식후, 30분 이내)
 - 食前 (식전)
 - 食間 (食後2時間) (식간, 식후 2시간)
 - __時間毎 (__시간마다)
 - __日間飲んでください。(__일간 드십시오.)
- *症状がよくなっても指示された期間きちんと飲み続けてください。(증상이 좋아져도 지시를 받은 기간 동안 계속해서 드십시오.)
- *この薬を__日間使ってもよくなる時は医師に診てもらってください。(이 약을 __일간 사용해도 좋아지지 않을 때는 의사에게 보여주십시오.)
- *眠くなることがあります。車は運転しない方がいいです。(졸음이 오는 경우가 있습니다. 자동차는 운전하지 않으시는 것이 좋습니다.)



お知らせ

肝炎ウイルス検査実施について

本年5月1日よりミニドック対象者の中で、節目年齢(40、45、50、55、60、65、70歳)の方々は、併せて肝炎ウイルス検査が希望により受診出来るようになりました。詳細につきましては、営業担当者もしくは、医師会医務課(TEL852-1504)までお問い合わせ下さい。

医師会臨床検査センターでは専用報告書(右図)を発行しております。



声(会員の先生方から)



医学部を卒業して以来三十年、長男が今では医学部在籍中ですが、医学の進歩には眼をみはるばかりです。卒業した頃には、ウイルス肝炎などA型、B型以外は一括りにnonA nonBと分類され、C型など、影も形もありませんでした。耳鼻科の家内の話では、かつてRIST, RASTなどのアレルギー検査は、博士論文のテーマになるくらいの最新の方法だったそうです。

それらの検査が今では、市中開業医でも採血指示のみで簡単に検査できるようになり、病態について患者さんにいろいろと説明しやすくなりました。最近では患者さんに手渡す控えもついてくるようになり、大変喜ばれています。ただ、検査結果で正常値の幅がどんどん狭くなっているように思われますが、如何でしょうか。コレステロールも尿酸も、クレアチニンも、高齢化とともに、異常値を示す方が増えてこられて、検査結果を渡しながら、どう説明し、どの程度まで加療すべきか悩んでいるこの頃です。

日進月歩の医学の進歩についていけない、そんな浅学な私にも、検査センターの技師さん達は、電話での問い合わせに懇切丁寧に説明をして下さいます。急ぐときには至急でお願いしたり、faxで問い合わせたり、いろいろ無理も言いますが快く受け入れていただき、助かっています。こういったきめ細かな対応は、医師会会員の立場をよく理解していただいているからこそ可能なことであろうと、しみじみと感謝するこの頃です。(家守光雄)

医)かもりクリニック 院長 家守 光雄
福岡市東区舞松原1丁目11-11

メモ

施設内勉強会 臨床検査技師・営業担当者向 (参加要予約)

「血液を使った検査」	5月20日(火)	14:00 於)カンファレンス室
「糖尿病について」	5月28日・29日(水)(木)	16:00 於)カンファレンス室
「C型肝炎ウイルス(HCV抗原など)」	6月17日(火)	14:00 於)カンファレンス室
「臓器(胃・腸)の組織」	6月26日・27日(木)(金)	16:00 於)カンファレンス室

会議

臨床検査センター運営会議 5月28日(水) 19:00 於)役員室

編集後記 5月になり、山は木々の新緑でいちだんと眩しさを増し、梢では巢立ちの鳥たちのさえずりが響きわたっております。大きく深呼吸をして肺に溜まった空気をすべて入れかえたい気持ちになります。自然のエネルギーを感じながら散策するにも絶好の季節です。

表紙のサツキツツジについて・・・サツキはツツジの一種でサツキツツジと言えば分かりやすいのですが、盆栽や植木の世界では、サツキと呼びます。元禄五年の園芸書に「春咲く類をツツジといい、初夏より咲くのをサツキという」と記されているそうです。葉や花が比較的大きくて、早く咲き終わるものがツツジ、ツツジが咲き終わる頃に咲く、遅咲きで小枝が多いものをサツキと覚えておけば良いでしょう。花言葉の『節制』は、厳しい環境でも良く育つことからつけられました。サツキの鉢を購入するときは、枝の先に花芽がたくさん付き、左右バランス良く伸びているものを選ぶと良いでしょう。

原産地：日本 花言葉：節制 開花時期：4月～7月 最盛期：5月

花色：赤、ピンク、黄、白、絞り、複色、覆輪など 花持ち：4～7日程度

編集委員 喜久正和 大塚英樹 椎葉 満 時藤清臣 奥野隆子 掛石利彦



〒814-0001 福岡市早良区百道浜一丁目6番9号

福岡市医師会臨床検査センター TEL(092-852-1506) TEL(092-852-1510)

http://www.ijnet.or.jp/fma/kensa/kensa.html E-mail: fma@po.ijnet.or.jp